

尾瀬(アヤマメ平～尾瀬ヶ原)山行報告

【山行日】 2014年 6月 4(水) 晴れ時々曇り
【集 合】 岩舟町役場駐車場 AM 6:00
【費 用】 マイカー1台 : 4,500円
【メンバー】 CL:鈴木、SL 大西、石田、岩淵
梶内、福田

【コースタイム】岩舟町役場 P5:00＝戸倉 P6:45/7:00＝
鳩待峠 7:20/7:35～横田代 900～アヤマメ平 10:00～
土場 11:30～長沢橋 12:10/12:40～竜宮 13:00～

下の大堀川 13:30～山ノ鼻 14:00～鳩待峠 15:00＝戸倉 15:30＝岩舟町役場 P18:00

前日の尾瀬の天気予報を見ると、群馬県側は曇り昼過ぎから6mの風となっていた。福島県側は晴れで風速は1～2mとなっていたので、反対周りのコースに変更した。当初はアヤマメ平で昼食を摂る予定にしたが、曇りで風が強いと昼食をゆっくりと食べられないからである。

予定通り鳩待峠に着き、鳩待山荘の脇から鳩待ち通りへ入る。ブナの根っこが露出する広い登山道をゆるやかに登ると、やがて狭い道となり木道を歩くようになる。1700mを超えたあたりから雪



道となり、赤いリボンやペンキマークを目印に歩くようになる。時々木道が露出しているので、その延長線を歩くように心掛けるが外すと雪を踏み抜きひざ上まで潜ってしまう。前の二人が雪を踏み抜いてこける度に、新人のIさんが大声で笑う。今年は残雪が多く皆さん苦勞するかと思っていたが、雪の歩きは楽しいと喜んでいて、樹林帯を抜けて横田代に出ると雪は消え、ショウジョウバカマやタテヤマリンドウの花が出迎えてくれた。高度があがるとさらに雪

が深くなったが、マークやトレースを外さないよう慎重に歩く。本日の最高点中原山の頂上を過ぎて、緩やかに下ると広い湿原に出て木道歩きとなり、ベンチがある休憩所にアヤマメ平の標識がある。

晴れていれば平ヶ岳や越後三山の素晴らしいパノラマが見られるが、今日はガスが掛かって手前の景鶴山がかすかに見えるだけである。富士見小屋への登山道からはガスが晴れ、残雪の斜面とブナやダケカンバの芽吹きが美しかった。富士見田代の分岐から長沢新道へ下るが、残雪が多く登山道を見失わないよう慎重に下る。土場から先は急な下りとなり、雪と木道が交互に出て滑りやすく、特に雪から木道へ移る時は注意した。尾瀬ヶ原側は天気が良く暑いので、皆さんが尾瀬ヶ原に出る前の木陰で昼食を摂りたいと言うので、長沢の橋を渡った木陰で昼食にした。

今日も焼きそばを焼いて美味しく戴いた。

尾瀬ヶ原に出ると竜宮手前のミズバショウ群生地に歓声が上がる。リュウキンカもちょうど見ごろで、水芭蕉の白とリュウキンカの黄色のコラボレーションが美しかった。竜宮十字路からは沢山のハイカーで賑わっており、ツアーの団体が多く見られた。下の大堀川のビューポイントで写真を撮り、中



田代の池塘に映る燧ヶ岳を写真に収めのんびりと水芭蕉を楽しみながら歩いた。山ノ鼻まで来るとさらに多くのハイカーで賑わっており、女子トイレは列をなしていた。K 氏の冷たいメロンを戴き、尾瀬の冷たい水で喉を潤し鳩待峠に向かう。皆さん元気でツアーの団体を何組も追い抜き、コースタイムよりも30分くらい早く鳩待峠に着いた。すぐに乗車券発売所に並び、乗車券を購入してバス停まで行くと皆さんすでにワゴンタクシーに乗り込んでいた。待ち時間なしですぐに出発し、行きも帰りも効率的な移動が出来た。戸倉からの車の中では皆さんさすがに疲れたようで、静かに休んでいたが、波紫江 S/A からは次に行きたい山の話で盛り上がっていた。

